

# キノコと秋の花見ウォーキング

台風24号が迫る中での観察会でした！

## ソライロタケ



今回は、「ふれあいの里」から「万灯山」を巡って、キノコと花を観察する予定でしたが、あいにくの雨で、万灯山は断念し途中から引き返しました。しかし、ソライロタケなど、収穫は多かったです \ (^o^ ) 。



出発です。元気な子供のおかげで平均年齢が低い。

## キノコ編

キノコ、初発見！！



## ① ハタケキノコ (畑茸)



参考写真



- ◇モエギタケ科 フミツキタケ属。世界的に分布。
- ◇傘=直径1~4cm。腐生菌。
- ◇芝生、腐朽わら、糞がら、ウッドチップなどの上に発生。(シバフタケとも呼ばれる)
- ◇初期に半球形、成熟すると饅頭形→扁平。
- ◇食べられるか？ = 食毒不明。

傘の形



## 🔥② ダイダイガサ (橙傘) 老菌



- ◇タマバリタケ科 ダイダイガサ属。
- ◇傘=直径1~3cm。腐生菌。
- ◇広葉樹 (ナラ・シ) の倒木や落枝上に発生。
- ◇幼菌時はオレンジ色、やがて色が薄くなり、老生すると白くなる。
- ◇食べられるか? = 食毒不明。

## 🔥③ ツノマタタケ (角又茸)



- ◇アカキクラゲ科 ツノマタタケ属。
- ◇小型 高さ5~12mm。腐生菌。
- ◇針葉樹や広葉樹の枯木、腐朽材。倒れた倒木の幹上に、列をなして群生する。人家の木材にも出る。
- ◇黄色→橙黄色→赤褐色。
- ◇食べられるか? = 不食。

## 🔥④ ヒメツチグリ (姫土栗)



- ◇ヒメツチグリ科 ヒメツチグリ属。
- ◇内皮は紙質で灰色~灰褐色。径5~7mm。
- ◇落葉層などに群生する。秋に発生。熟すと頂部より4~6片に裂け星形に開き外皮は反り返る。反り返った外皮と内皮の間には短い柄がある。袋状の内皮部分には胞子がつまっている。
- ◇食べられるか? = 不食 (食不適)。

## 🔥⑤ スッポンタケ (鼈茸) 幼菌

\* 上は半割に切断し内部を確認したもの



↑ 参考写真・成菌

- ◇スッポンタケ科 スッポンタケ属。
- ◇幼菌 径3~6cm。成菌 高さ10~15cm。傘=直径3~5cm。
- ◇幼菌時は卵状の白い膜に覆われており、成長と共に柄が伸び、中からキノコが出る。
- ◇食べられるか? = 悪臭がするが食用が可能。中華料理にも使用される。(悪臭は成菌の傘)

## 🔥⑥ アマタケ



- ◇キシメジ科 モリノカシバタケ属。
- ◇傘=直径2~6cm。腐生菌。
- ◇夏から秋にかけて広葉樹林地上に群生、または束生。
- ◇短命のキノコで、一面に群生していたのが2日も晴れ上がると嘘のように消えて、また雨が降ると同じような場所にくり返し発生。
- ◇食べられるか? = 可食。わずかに甘みがある。(汁物、スキヤキ、酢の物、天ぷら、イタメ物等)

## ♣⑦ ソライロタケ (空色茸)



特徴的な色を持つソライロタケは日本固有の種だと言われており、人気があるが発見することはとても難しいキノコだとされている。

- ◇イッポンシメジ科 イッポンシメジ属。 ◇傘＝直径2～3.5cm。 柄＝3～7cm。
- ◇アカマツの針葉樹林や、広葉樹と針葉樹の混じった混成林などの腐葉土が重なっている地上に発生。
- ◇さわると黄色くなる→表面に傷がついたりした場合は黄色い粘液を出して黄褐色に変色。
- ◇食べられるか？ = 食毒不明。(たいへん珍しい種のため食用となるかどうかは不明)

## ♣⑧ ホウライタケ (蓬菜茸) の仲間



- ◇ホウライタケ科＝真正担子菌綱ハラタケ目の菌類。白い胞子をち、多くは固い柄を持っている。乾燥期の間は萎縮し、雨が降ると回復する能力がある。シイタケなどがこれに属する。

## ♣⑨ ホウキタケ (箒茸) の仲間



- 〈ホウキタケ〉
- ◇スッポンタケ目 ホウキタケ科。
- ◇高さ＝10～20cm。
- ◇太さのある根元部分から珊瑚のように複数に分岐し、先端部分では更に細かく分岐。
- ◇食べられるか？ = 風味も良く美味しい。外見が似ている毒キノコもあるので要注意。

## ♣⑩ アカヤマタケ (赤山茸) 老菌



- ◇ヌメリガサ科 アカヤマタケ属。
- ◇傘＝直径2～5cm。
- ◇秋に各種の林内や草地の地上に発生。
- ◇手で触れたり、傷をつけたり、老成すると黒変する。
- ◇食べられるか？ = 可食だが、体質によっては中毒することがある。

←参考写真

## ♣⑪ ホウロクタケ (焙烙茸)



- ◇ツガサルノコシカケ科 ホウロクタケ属。
- ◇傘＝半円形、幅4～15cm、厚さ1～2cm。
- ◇食べられるか？ = 不食。

🍄 ⑫ **ミヤマオチバタケ (深山落葉茸)**



参考写真

- ◇ホウライタケ科 ホウライタケ属。腐生菌。
- ◇傘=直径1~3.5cm。饅頭形→広饅頭形。
- ◇広葉樹林の落葉、枯木に発生する。針葉樹林にも見られる。
- ◇食べられるか? = 不明。

🍄 ⑬ **エリマキツチグリ (襟巻土栗)**



- ◇ヒメツチグリ科 ヒメツチグリ属。
- ◇子実体=直径 2-3cm程度。
- ◇熟すと外皮が頂部から6~9片に裂開して開き、アーチ状に反転。広げると直径5~8cm。
- ◇食べられるか? = 無毒らしいが食不適。

**腹菌類 (正式・学術的な用語ではない)**

\*子実体の内側に担子胞子を作り、キノコが成熟すると外に放出するのが腹菌類 (便宜的にまとめた呼称)

①臭いを出すタイプ

卵のような菌蕾の中で形ができ、その中からキノコが出てくる。成長が進むとキノコの頭頂部から粘液にまみれた胞子とともに強い臭気を出す。この臭いがハエをおびき寄せ粘液を運んでもらう。この粘液がキノコの胞子。

**スッポンタケ**、**キヌガサタケ**、**キツネノエフデ**、**サンコタケ**、**イカタケ** など。

②熟成するとホコリのようなものを噴出するタイプ

多くは丸い形をしている。成長が進むにしたがってその丸い部分がふくれてゆき、中に胞子がたくさん詰まってくる。そして、最終的にはその胞子を埃のように噴出する。(雨や風、動物等の刺激振動で胞子を噴出させて散布)

**オニフスベ**、**ツチグリ**、**ヒメツチグリ**、**エリマキツチグリ**、**ノウタケ**、**クチベニタケ** など。

🍄 ⑭ **ミドリスギタケ (緑杉茸)** 老菌

🍄 ⑮ **ニオイコベニタケ (匂小紅茸)**



- ◇フウセンタケ科 チャツムタケ属。腐生菌。
- ◇傘=直径2~10cm。丸山形→饅頭形→扁平。
- ◇針葉樹 (稀に広葉樹) の枯木、倒木、丸太、ウッドチップ上に発生。
- ◇食べられるか? = 有毒 (神経系障害)。  
(味は苦く、食用に不向きでもある)

参考写真 部分的に緑色のしみがあるミドリスギタケ



- ◇ベニタケ科 ベニタケ属。菌根菌。
- ◇傘=直径2~4cm。半球形→饅頭形→杯形。
- ◇ブナ科の広葉樹やマツ科の針葉樹の森林、庭園、道端などの地上に発生。
- ◇カフトムシのような独特のにおいのする小さなベニタケ。
- ◇食べられるか? = 不明 (可食ともいわれる)。

🍄 ⑩ エセオリミキ (似非折幹)



- ◇キシメジ科 モリノカレバタケ属。腐生菌。
- ◇傘=直径3~7cm。饅頭形→中高扁平。
- ◇「エセ」とはニセを意味し、「オリミキ」とはナラタケを意味する。
- ◇広葉樹、針葉樹の落葉や枯れ枝の積もった場所に発生。
- ◇食べられるか? =可食。

🍄 ⑪ キイボカサタケ (黄疣傘茸)



- ◇イッポンシメジ科 イッポンシメジ属。腐生菌。
- ◇傘=直径1~4cm。細い円錐形→鐘形、平らに開くことがなく、中央に疣状の突起(鉛筆の芯状突起)があり、名前にイボと付く由来になっている。
- ◇林内(特に杉林内)の腐葉上に発生。
- ◇食べられるか? =有毒。(愛知で死亡例あり)
- ◇形態、発生環境もほぼ同じで、色だけが違うものにアカイボカサタケ、シロイボカサタケがある。

🍄 ⑫ アカイボカサタケ (赤疣傘茸)



老菌?

- ◇イッポンシメジ科 イッポンシメジ属。腐生菌。
- ◇傘=直径1~4cm、円錐形→鐘形、中央に疣状の突起があり、粘性なく、湿めると縁に条線が出る。全体に明るいサーモン・オレンジ→鮮橙色→橙色→暗黄色。
- ◇林内の腐葉上に発生。
- ◇食べられるか? =有毒。



参考写真

【参考写真】

\*もうひとつの「イボカサタケ」

シロイボカサタケ (白疣傘茸)

\*「イッポンシメジ属」は色彩豊か

ソライロタケ = 水色

ワカクサウラベニタケ = 緑色



ナスコンイッポンシメジ = 紫色

アオエノモミウラタケ = 藍色



◇イッポンシメジ科 イッポンシメジ属。

キ・アカ・シロの3種が混生することもあるとか。出会いたい。

♣ 19 **ベニヒガサ (紅日傘)**



小さい。  
見た感じ  
はこんな  
の。  
↓

参考写真

- ◇ヌメリガサ科 アカヤマタケ属。腐生菌。
- ◇傘=直径1~3.5cm。半球形→饅頭形→浅皿形。
- ◇林内の地上やコケの生えている場所に生える小型のきのこ。鮮やかな朱赤色をしているため、小さいがよく目立つ。
- ◇食べられるか? =食毒不明。小さくて食用価値なし。

♣ 20 **ヤブニワタケ (藪庭茸)**



- ◇イチョウタケ科 イチョウタケ属。
- ◇傘=直径5~15cm。饅頭形→扁平→じょうご形近く。
- ◇竹林内の地上に発生。外見적으로는ニワタケと見分けがつかないが、発生環境が違い、タケに発生するニワタケの変種。(ニワタケは、針葉樹、まれに広葉樹の切株、枯木、周囲の地上に発生)
- ◇食べられるか? =食不適。固い。苦い?

♣ 21 **アセタケ (汗茸)**



- ◇マツタケ目 フウセンタケ科。
- ◇傘=直径3~5cm。円錐形→平ら。カサに放射状のスジがあり、中央部が盛り上がるのは、典型的なアセタケ属のキノコの形。
- ◇食べられるか? =有毒。ムスカリンという涙と唾液、そして大量の汗が吹き出す毒を含む。

♣ 22 **ナヨタケ (弱茸) の仲間**



♣ 23 **キツネノカラカサ (狐唐傘茸) の仲間**



- 〈キツネノカラカサ〉
- ◇ハラタケ科 キツネノカラカサ属。
  - ◇傘=直径2~4cm。鐘形→饅頭形→やや中高の平ら。
  - ◇広葉樹林下腐葉土上(林内、庭園内地上、芝地、ゴミ捨て場など)
  - ◇食べられるか? =仲間のドクキツネノカラカサは有毒。

♣ 24 **ホウライタケ (蓬菜茸) の仲間**



シロホウライタケ?

## ㊦ ㊦ ノウタケ (脳茸)



- ◇ハラタケ科 ノウタケ属。
- ◇高さ5~15cm、幅8~15cm。
- ◇白色→黄褐色→茶褐色。形は全体としては楕円形で成熟したものは無数のシワが頭部全体に出る事がある。(脳のような形状)
- ◇腐葉土の多い場所や庭園、各種林内の地上に群生。(腐食質に富む地上)
- ◇食べられるか? =可食。  
若いうちに採取した物は食用になる。  
割ってみて中身が白っぽければ食べられる。

参考写真



◇ノウタケの中身は老菌になると粉状に変化する。それがノウタケの胞子。

## ㊦ ㊦ カレバキツネタケ (枯葉狐茸)



### 【キノコが育つ環境】

- ①湿気の多い場所…菌類なので基本的には湿気の多い場所(沢など水の流れのある場所など)を好む。
- ②切り株・倒木…枯れ木はキノコが発生する代表的な場所
- ③落ち葉の積もった場所…きのこが育ちやすい環境。好まないキノコもある。
- ④北または東向きの斜面…日のあたりにくい北または東向きの斜面はキノコが発生しやすい場所。

### ※キノコが育たない場所とは

シダ類などの植物が多い場所や笹が密生している場所など。地面の中に網の目のようにびっしりと根が張り巡らされているため。

## 付 録

観察会の解散後、センター前(東)・駐車場でキノコを見かけました。  
名前はわかりませ〜ん…!





## 花 編

### ❁ ヒメクグ (姫莎草)



◇カヤツリグサ科カヤツリグサ属。多年草。  
◇花序(直径約1.1cm)は球状で1個つく。  
◇日当たりの良い湿った場所を好む。

### ❁ キツネノマゴ (狐の孫)



◇キツネノマゴ科キツネノマゴ属。  
◇道端に生える小柄な雑草。一年草。  
◇花は8-10月頃。約8mm。穂状に密集。

### ❁ ソバ (蕎麦)



◇タデ科ソバ属。一年草。  
◇茎の先端に総状花序を出す。  
◇花期は8~10月。6mmほど。

### ❁ アキノウナギツカミ (秋の鰻糞)



◇タデ科イヌタデ属。一年草。  
◇湿地や休耕田などで見られる。  
◇茎は四角形で稜に逆刺(下向き)がある。

### ❁ ハナタデ (花蓼)



◇タデ科イヌタデ属。一年草。  
◇山野の林内、道端、草地。  
◇花は白みが強く、穂は密につかない。

### ❁ カナムグラ (鉄律)







◇アサ科カラハナソウ属。刺あり  
◇つる性1年草。雌雄異株。  
◇道ばたや荒地などに生える。

### 花がよく似た仲間 (タデ科イヌタデ属) の見分け方① ... 葉の違いで

アキノウナギツカミ	ミソソバ	ママコノシリヌグイ
葉は細長い長被針形で基部は矢じり形となり、茎を抱く。	卵状鈍形、先が鋭く尖り、基部が耳状にはり出す。葉の形が牛の顔に似ている。(別名は「うしのひたい」)	葉は三角形または長三角形
		



花がよく似た仲間（タデ科イヌタデ属）の見分け方② … ハナタデ・イヌタデ

比較項目	ハナタデ（別名 ヤブタデ）	イヌタデ
高さ	30～60cm（イヌタデより高い）	20～50cm
生育場所	ハナタデはイヌタデより陰地を好み、人里から離れたところに多いとされるが、同じような場所にも生育する。	
花	ハナタデは、花のつき方がイヌタデよりまばらで間が離れ、色はイヌタデより淡い。	
		
葉の形	先端は尾状になる。（急に細くとがる） （卵形～長卵形）	先端が徐々に細くなる。 （広披針形～披針形）
		

❁ オギノツメ（荻の爪）



◇キツネノマゴ科  
オギノツメ属。

- ◇多年草。水田や水田周辺などの湿地帯に自生している野草もしくは水田雑草。三河地方では水田雑草であり、それほど多くはないが、ところどころで見られる。
- ◇暖地性の植物であり、絶滅危惧種に指定されている地域もある。
- ◇花期＝8～10月。葉腋に柄のない数個の花を束生する。

❁ コマツナギ（駒繫ぎ）



- ◇マメ科コマツナギ属。落葉小低木。
- ◇日当たりの良い、原野、道端などに生える。花期は5月～9月。
- ◇葉は夜には閉じる。
- ◇茎が馬をつなげるほど丈夫…で和名。

❁ タカサブロー（高三郎）



- ◇キク科タカサブロー属。一年草。
- ◇水田や畦、水路壁などに生育。
- ◇高さは20～70cm。茎や葉には剛毛があってざらざらする。
- ◇花期は8～9月。  
頭花は直径約1cm。

❁ イボクサ（疣草）



- ◇ツククサ科イボクサ属。
- ◇湿地に生える雑草で、水田では畦によく出現。一年草。
- ◇茎は枝を分けて地を這い先端は立ち上がる。（高さ20～30cm）
- ◇葉の汁をつけるとイボがとれると言われた…で和名に。

❁ ミソカクシ（溝隠）



- ◇キキョウ科ミソカクシ属。
- ◇湿った場所に生える多年草。
- ◇溝を隠すほど茂ることから付けられた和名。田の畦に筵を敷いたように生える様子からアゼムシロ（畦筵）ともいう。
- ◇花期は6～10月。

🌸 **ミスヒキ (水引)**



- ◇タデ科イヌタデ属。多年草。
- ◇林や藪のふちなどにふつうに生える。
- ◇茎の先に長さ約30cmの細い花穂(総状花序)を出し、小さな花がまばらに横向きにつく。花の色は上半分は赤色、下半分は白色。(花穂の裏を見ると白)
- ◇和名は、紅白に見える花序が、祝儀などで使われる水引きそっくりなことから。

🌸 **ヤマノイモ (山の芋)**

ムコ

🌸 **ヤブミョウガ (藪茗荷)**



花ではないですが…。若い果実

- ◇ヤマノイモ科ヤマノイモ属。つる性多年草。
- ◇果実は下側が裂けて種子が出る。
- ◇葉腋にしばしば珠芽(ムカゴ)がつく。雌雄異株。
- ◇花期は7~8月。シネンジョ。



- ◇ツクサ科ヤブミョウガ属。多年草。
- ◇5月頃から発芽、夏にかけて生長(草丈50~100cm)、ミョウガに似た長楕円形の葉を互生。(ミョウガはショウガ科ショウガ属)

🌸 **クサギ (臭木)**



- ◇シソ科クサギ属。落葉小高木。
- ◇日当たりのよい山野の林縁や沿海地に生える。高さ4~8m。
- ◇葉や茎が傷つけられると悪臭がする…で和名に。

🌸 **マメアサガオ (豆朝顔)**



- ◇ヒルガオ科サツマイモ属。一年草。北アメリカ原産。
- ◇花が小さいアサガオで、直径約15mm。花期は夏~秋。
- ◇ホシアサガオは、ピンク色で中心部の色が濃くなっている。

**【水田雑草】** ~ 水田によく見られる雑草をいう。

特徴 … ①湿地性の植物や水草、②熱帯系の要素が多い、③季節によって大きく変化する、④絶滅危惧種が多い。(水田の内部は特殊であって、限られた種が出現する。畦には地域の植物も)

**今回観察・比較した花のうち水田雑草と言われるのも**

アキノウナギツカミ、ミソソバ、オキノツメ、タカサブロー、イボクサ、ミソカクシ

## その他編

### カマキリ (螳螂)



◇昆虫綱カマキリ目に分類される昆虫の総称。「カマキリ」は、「鎌を持つキリギリス」の意味。

### ムクノキ (棕の木)



◇アサ科ムクノキ属 (落葉高木)。母は両面とも短い伏毛があって、著しくざらつく。10円玉ピカピカ。

### コウロギ (蟋蟀) ♀



◇昆虫綱バッタ目キリギリス亜目コオロギ上科の総称。雌はお尻の先端に針のような産卵管がつく。

### クリ (栗)



◇ブナ目ブナ科クリ属。落葉高木。雌雄異花で、5月から6月に開花。食べているところは、実でなく種。

### キタキチョウ (北黄蝶)



◇よく見かける黄色いチョウ。翅を広げた横幅は3cmほど。本土=キタキチョウ。南西諸島=キョウ。

### コバネイナゴ (小翅稲子)



◇イネの害虫だが、イネ以外の雑草も良く食べる。佃煮として食用にもなる。

## カヤツリグサ (蚊帳吊草)

### ●カンエンガヤツリ ?



◇カヤツリグサ科カヤツリグサ属。一年生植物。◇高さ1m以上にもなる大型種。湿地に生える。花期 8~9月。◇高さ 30cm程度。

## アメリカザリガニ



◇アメリカ南部が原産地。◇流れの速い川には生息しない。◇冬は穴に潜んで冬眠する。



センターに戻って、山崎さん手製のおいしいサツマイモ (紅東) をいただき、一息つきました。

雨の中、お疲れ様でした(´Д`)ノ^^